

魅せて、見せる 名古屋オートトレンド

主催：テレビ愛知

日時：3月18・19・20日

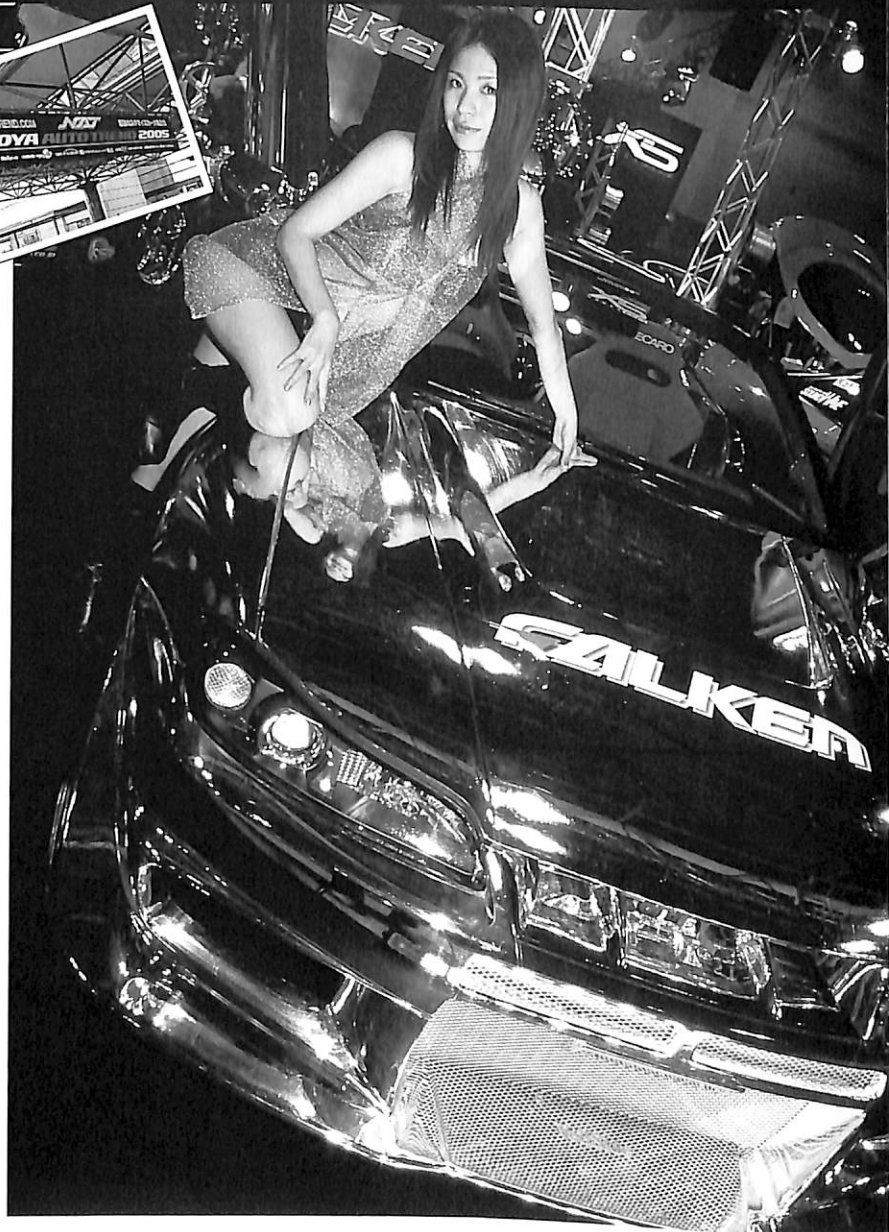
場所：ポートメッセ名古屋

花粉：パワー炸裂

photo—益田和久 report—すぎたま



●銀メッキのステッカーを約1カ月かけて張ったド派手なファルケンS15。現在エンジンはノーマルだが、今後はHPIと共同製作していく予定で、D1で古口選手が乗るかもしれない!? また、新情報は随時ホームページ(<http://www.falken.co.jp/>)で公開していくので要チェック!



3月18日から20日まで名古屋オートメッセでオートトレンド名古屋が開催された。中部地方ではおなじみのイベントで、VIPからチューニングカーまで幅広いジャンルの出展が特徴。とくにキーポイントになるのがイベント名にもある「トレンド」という言葉。要は、ジャンルにこだわらず、これからのクルマのあり方や理想を、クルマやクルマのパーツで表現しアピールする場所ってわけ。もちろんここから発信されたものがトレンドとなるかどうかは、来場したお客さん次第だけだね。

そんなわけで、会場を見渡すと奇抜なものもあれば、シンプルにまとめた大人の雰囲気を狙っているものもあり、表現形態はいろいろだ。出展していたのは、日産やトヨタといった自動車メーカーから、ブリッツなどの有名チューニングパーツメーカー、さらにトリアルやR&E、雨宮などのおなじみのショップなど。これで盛り上がりがないわけがない!ただ、このイベントが開催される少し前に、関東ではオートサロンというビックイベントが開催されていた。そのせいかここで初めて発表されたものが案外少なかったの

今年も多ジャンルでハッスル、ハッスル!?

様々なコラボで先をいく TRIAL



▲レカロと共同製作した、オリジナルのフルバケ「SP-GT2レッドファルコン」。FIA基準をクリアの本格仕様。価格16万2750円。



▲Z27230、231用セリカの高調「TRYMAXサスペンションKIT」。価格26万4000円。



▲今後は吸排気や足まわりあたりのパーツから販売予定だという、ロータスエクシージ。やっぱりこのスタイルはカッコいいね。

今年のトリアルは、メーカーとのコラボレーションでオリジナル製品を多数発売する予定。すでに販売されているのが、レカロとのコラボレーションから生まれたオリジナルのフルバケットSP-GT2レッドファルコン。そして第2弾としては、ロータスとオリジナルパーツを共同開発中だ。